

口蹄疫ワクチン（A型）の接種、全国の豚に拡大実施

- 危険地域のワクチン接種が完了したら、その他の地域で順次ワクチン接種の推進 -

出典URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE88JTJGymJzJTJGbwFmcmEIMkY20CUyRjMxNzE5NyUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJT12cmdzRW5kZGVtdHI1MOQIMjZiYnNpcGVuV3JkU2VxJTNEJT12cGFzc3dvcmlMOQIMjZzcmNoQ29sdW1uJTNEJT12cGFnZSUzRDEIMjZyZ3NCZ25kZVNOciUzRCUyNnJvdyUzRDEwJT12aXNwaWV3TWluZSUzRGZhbHNlJT12c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（仮訳）

- 農林畜産食品部（以下「農食品部」）は、今回の京畿道金浦市豚農場の口蹄疫の発生に伴う危険地域などに対するワクチン接種を3月29日（木）に当初の計画通り完了し、3月30日（金）からは非接種地域の豚のワクチン接種を推進すると発表した。
 - 口蹄疫発生地域と近隣地域の京畿・仁川・忠南地域のすべての豚と全国の母豚に対して3月27日から3月29日までワクチン接種を完了し、
 - この週末の間に発生地域である京畿道と接続した江原道地域のワクチン接種を実施する。これまで口蹄疫が発生した忠清北道・全北地域の接種に続いて、残りの4道（慶北など）と6つの広域市を対象に、4月末までに順次実施する計画である。
 - 併せて、農食品部は、口蹄疫ワクチン接種が完了した4月末から1次ワクチン接種が完了した豚について順次2次ワクチン接種を推進する計画※だと明らかにした。
 - また、農食品部の関係者は、ワクチン接種などのために訪問する出入り車両や人などについて消毒を徹底して実施し、毎日家畜の綿密な臨床観察と農場の消毒など遮断防疫に積極的に努力し、口蹄疫の疑い症状の発見時に防疫機関にすぐに報告するよう畜産農家に呼びかけた。
- ※ 動衛課注：今回の防疫対応として、豚に対するワクチン接種は2回実施する。